

主な内容

- 7面 熟年者のインフルエンザ予防接種
- 8面 お月見キャンドルナイト  
住まいの耐震相談会  
長寿のお祝いを心をこめてお届けします  
都営交通無料乗車券の更新

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

## 9月1日は防災の日 地域防災力を 高めましょう

東日本大震災では、多くの方が家屋を失い、発生から半年が経過しようとする今も、避難所での生活を余儀なくされている方がいます。区では、大災害発生後、速やかに避難所を開設し、避難されるみなさんと力を合わせて円滑な運営ができるよう、体制を整えていきます。

自分の身は自分で守る、そして、自分たちのまちは自分たちで守る。みなさんも家庭での備えに加え、地域ぐるみの災害対策を考えてみましょう。

☎ 災害対策課事業係 ☎(5662)2129

### 総合防災訓練で住民参加型訓練を実施

7月28日に行われた江戸川区総合防災訓練では、避難所の開設・運営を中心とした住民参加型の訓練を実施しました。参加者は、本番さながらに居住スペースの区割りや、マンホールトイレの設置などを体験しました。

マンホールトイレの設置



居住スペースの区割り



担架での重傷者の搬送



### 【大地震発生時における避難行動の主なパターン】

◎倒壊や火災により家屋が危険な場合を想定。



### 欠かせない「地域の力」

### 地域での防災訓練を推進していきます

大地震によって家屋の倒壊や火災が発生し、自宅で生活することが困難な場合、被災者の生活基盤となる場所が小・中学校などの公共施設です。避難所では、近隣のみなさんが共同で生活することになるため、その円滑な運営には地域内での連携・協力が不可欠となります。



今後、区では避難所となる学校を会場に地域のみなさんと協力しながら、避難や避難所の開設・運営を中心とする実践的な防災訓練を推進していきます。

### 区職員が避難所開設に駆けつけます

休日や夜間に災害が発生した際、速やかに避難所を開設するため、各小・中学校の近隣に住む区職員10～15人を担当として割り当てています。今後は、該当職員への研修を行い、みなさんと連携していくための体制を築いていきます。



▲防災訓練で担当の区職員を紹介

### 日頃の対策が地域防災力を高めます

- 町会・自治会などで組織される自主防災組織に参加する
- 初期消火用の消火器（区内に約5,700本）の場所を確認する
- 地域の防災点検を行い、周囲の危険箇所を把握する など

江 戸 川 区 長 多 田 正 見

被災地の一刻も早い復興を願い、宮城県気仙沼市へ職員を派遣し始めてから4か月余りが経ちました。この間、派遣した職員は実人数で272人、日数を乗じた延べ人数では3320人を数えます。現在は、仮設住宅への入居手続きや避難所運営などの支援を行っています。

職員が現地に着ている江戸川区の防災服は、気仙沼市民の皆さんにすっかりお馴染みだそう。現地から戻った職員の話によると、多くの市民から感謝や労いの言葉をいただき、仕事の励みになっていくようです。しかし、支援が必要とされる業務は膨大です。職員派遣もまだまだ続けていかなければなりません。

先日、私の手元に、気仙沼市の皆さんから一通の手紙と色紙が届きました。手紙には住民代表の方の丁寧な感謝の言葉が、そして色紙には多くの方々の寄せ書きがありました。

「たくさんのご支援、ありがとうございます」

「皆さんのおかげでたくさんの勇気をいただきました」

「復興に向けて、少しずつですが前進しています」

この色紙に込められた気仙沼市民の深い思い、そして復興に向けたその努力に、改めてしっかりと応えていかなければ、という気持ちになりました。

